

《 浅草寿地区町会連合会 》

開催日：11月6日（金）

◇東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて

質問	回答	対応
<p>2021年夏に延期された東京オリンピック・パラリンピック競技大会ですが、新型コロナウイルス感染症が収束し、盛大に開催される事を心から願っています。</p> <p>そして、パラリンピックでは、わが浅草寿地区にあります江戸通りが、マラソンコースの一部となっているので、その町並みなどが、各国で放映されるチャンスだと大いに期待しています。</p> <p>コロナ禍で、今後区は財政的に厳しい状況となるとは思いますが、ハード面・ソフト面で、どのように盛り上げていかれるのかをお伺いしたいと思います。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症を取り巻く環境は、依然として厳しい状況ですが、令和3年に延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催時には、多くの来街者が訪れることが予想されます。パラリンピックマラソン競技では、江戸通りがコースの一部となっており、通過時に台東区の映像が世界中に流れることは、本当に素晴らしいことであり、本区の魅力を世界に向けて発信する、またとないチャンスです。</p> <p>区では、これまで大会啓発品の配布や障害者スポーツの普及啓発、微細ミストの設置による暑さ対策、花の心で来街者をもてなす「おもてなしの庭」など、ハード面・ソフト面の両面から大会機運の醸成を図ってまいりました。今後も引き続き、大会の開催に向け、花の心によるおもてなし事業や聖火リレー事業を進めていくとともに、大会組織委員会や東京都と連携して、来街者の受入体制の整備を進めてまいります。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会という絶好の機会を、区民の皆さまと盛り上げ、安全安心に大会開催を迎えられるよう、新型コロナウイルス感染症対策も含めた様々な取り組みを進めてまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。</p>	<p>—</p>

◇防災行政無線を有効に使うために

質問	回答	対応
<p>昨年来、台風及び大雨による風水害が多発しており、防災行政無線を聞く回数も増えています。</p> <p>近年は、マンションの乱立により、今まで聞こえていた無線が聞こえなくなってしまう、区から町会に配付された2台の防災ラジオも、常にスイッチを入れ、聞いていることは難しく、肝心な時に聞きそびれてしまう事が多々あります。</p> <p>そこで、あらためて調査をしていただき、多くの区民が聞き取りやすい状態に改善していただくことを希望します。</p>	<p>ご指摘のとおり、防災行政無線による放送は、気象状況や建物状況、住環境等により聞き取りにくいことが課題となっております。これまでも聞き取りやすい放送を目指し調整してまいりましたが、今後も放送音量やスピーカーの方向の調整等、改善に向けて取り組んでまいります。</p> <p>また、平成30年度から3年間かけて、固定系防災行政無線のデジタル化整備工事を行っており、令和2年度末に工事が完了する予定です。区内各所にあるスピーカーの取り替えや新設、設置個所の変更を行いますので、聞こえ方が改善されると考えております。工事完了後には、再度聞こえ方について検証や検討も行いたいと考えております。</p> <p>なお、災害時に区が発信する最新情報の確認等ができる防災アプリ「台東防災」を設けております。このアプリで放送内容を確認することができますので、ぜひご登録ください。また、区公式ホームページや「自動電話応答サービス」、「たいとう防災気象情報メール」でも放送内容を確認することができますので、ご活用いただければと思います。</p>	<p>○</p>

◇町会内の情報把握について

質問	回答	対応
<p>個人情報の関係で、事件・事故・急病人・災害発生時等の際に、町会内に住んでいる方の情報が把握できていないことから、円滑な活動ができずに難儀しています。また、新入学生へのお祝いや敬老の日のお祝金等を計画しても、回覧板で周知し、申告いただくしか方法がありません。マンションは大概がオートロックで入れず、情報が得られません。このため、高齢者に限らず一人暮らしの方の災害時の対応については、町会として避難行動要支援者名簿登載の方以外は安否確認をすることが難しくなっています。浅草下町の心意気を町の方に知っていただきたく、安心・安全の町をつくろうと、町会で一丸となっています。</p> <p>区として、町会がもっと活動しやすくなるよう、情報提供をしていただける制度を構築いただけないでしょうか。</p>	<p>高齢者の見守りや子供たち向けの行事等を通じて、町会の活性化や安全安心の地域づくりのために、地域住民の方と交流を深めていくことは大切であると考えます。また、災害時における地域住民同士での共助などにも大いに役立つものであります。</p> <p>しかしながら、個人情報に関することについては、区から町会へ提供することができません。区としては、町会活動に多くの方が参加し、さらには町会運営にも関わる方が増え、多くの住民が交流できるような施策を検討してまいります。</p>	<p>△</p>

◇買物券の配付をして購買促進につなげては

質問	回答	対応
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、観光地としての収入が減少してしまった事や、永寿総合病院でクラスターが発生し、病院の運営が厳しくなった事への対応等のため、区は支援金や補助金等、多額の支出をされています。</p> <p>区民についても、一家庭あたりの収入が激減しています。他区では、国の特別定額給付金とは別に、独自の給付金を支給していると聞きます。本区でも、区内店舗で使用できる買物券を世帯ごとに3～5万円程度配付し、少しでも購買促進につながるようにしてはどうでしょうか。</p>	<p>区では、収入が減少してしまった方や離職等で生活にお困りの方に対し、貸付や手当金等の様々な支援を行っております。</p> <p>また、国の特別定額給付金の対象外であった、お母さんのおなかにいた赤ちゃんについても、影響を受けた家族の一員と捉え、令和2年4月27日に妊娠されていた方に対し、胎児一人につき10万円の妊婦等応援特別給付金を、区独自で支給することとしました。</p> <p>ご提案の買物券の配布については、買物券の取扱店のご協力が欠かせません。過去に商品券を販売した際、取扱店から「消費者が一概に集中し、期待ほどの購入はなかった」、「現金化の手続きに時間がかかる」等のご意見をいただきました。こうした課題もあり、買物券事業の実施は難しいと考えておりますが、地域経済の活性化のために、必要な消費喚起策を引き続き検討してまいります。</p> <p>※商店街が共同して実施する売出し事業に対し、支援を行う準備を進めています。 (産業振興課)</p>	<p>☆</p>

◇芸術・文化・スポーツ活動の隆盛のために

質問	回答	対応
<p>全世界でパンデミックを起こした新型コロナウイルス感染症の蔓延は、病態の複雑さばかりではなく、社会、経済、文化などにも大きな影響を与えています。</p> <p>区民が続けてきた様々な活動は殆どが止まったままであるだけでなく、心の躍動や安寧が得られない状態が続いています。これは看過すべきではないと思います。今、まさに経済の再建だけでなく、落ち込んでいる区民の心を奮い立たせる事が必要です。</p> <p>近い将来、収束に向かうとは思いますが、区長には、区民の文化・芸術・スポーツ活動を応援するための旗を大きく振っていただきたいです。</p> <p>来年行われる東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げるためにも、今まで以上に規模を拡大し、充実させ、魅力ある内容の文化・芸術・スポーツ大会を企画・開催いただく事を強く希望いたします。</p>	<p>文化・芸術やスポーツは、人々の心に潤いや感動を与えるかけがえのないものであると認識しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が延期となり、各種イベントが中止となるなど、以前と同じように享受できる機会が失われてしまうことは、残念に思います。</p> <p>区では、緊急事態宣言が発令され、外出自粛により自宅で過ごす時間が多くなる中、少しでも潤いのある時間を過ごしていただきたいと、東京藝術大学の学長をお願いして、「東京藝術大学特別コンサート」をYouTube台東区公式チャンネルで配信させていただきました。</p> <p>また、オリンピック・パラリンピック教育を推進するために、小学生を対象としたボッチャ交流大会の開催等を予定しております。</p> <p>今後、感染状況がどのような経過をたどり、また、経済状況や区の財政状況がどう推移していくのか、先が見えない状況です。</p> <p>現在は、感染症防止対策が可能なイベントから、順次再開しているところですが、区民の皆さまが安心して文化・芸術やスポーツに触れ、またその活動に積極的に取り組むことができるよう努めてまいります。</p>	<p>—</p>

◇地域のさらなる安全・安心の確保のために

質問	回答	対応
<p>ここ数か月の間で、登下校途中の小学生の前に不審者が現れる事例が何件もありました。</p> <p>これらの事例があると、小学校から保護者に注意喚起の連絡はありますが、町会には直接の連絡はありません。</p> <p>町会としては、地域の安全・安心を日々目指しています。不審者情報があれば、登下校の時間帯に自主的に巡回するなど、大切な子ども達を守りたいと思っています。</p> <p>区の「たいとう安全・安心電子飛脚便」で情報を得られる事は知っていますが、スマートフォンやパソコンを使用していない町会長・町会会員が多い中、その情報を入手する事は困難です。学校や警察、区から情報をいただけたらと思います。</p> <p>そして、子ども達の安全確保のため、登下校の時間帯に青パトの巡回の回数を増やす、巡回時間を延長する、事件等が起きた現場周辺は暫くの間手厚くするなどの対応を要望します。また、青パトは、広めの通りを素早く通り過ぎていように見受けられます。巡回中はスピードを落とし、ゆっくりと周囲を見渡しながら監視を行っていただきたいです。</p>	<p>「たいとう安全・安心電子飛脚便」は、警視庁から配信される「メールけいしちょう」を基に配信しております。メール配信は、多くの方に、同時に、瞬時に送ることができるため、安全で安心な生活につながる情報をタイムリーに提供できる手段と考えております。スマートフォンやパソコンだけでなく、スマートフォン以外の携帯電話でも受信することができますので、これらの機器を使用することができる方を中心とした連絡網を作成していただくなど、ご対応いただければ幸いに存じます。</p> <p>子どもの安全パトロールは、保育園や学校、公園など253か所を4台の青パトで1日2回巡回しております。登下校の時間帯には、保育園や学校を中心に巡回や立哨し、不審者等の事案の有無について園や学校と情報共有するなど、事件等が発生した場合には、巡回の時間や回数を調整し、その地域の重点的な巡回も行っております。</p> <p>巡回の時間や青パトの走行スピードなどについては、地域の皆さまや警察等からのご意見を参考に工夫してまいります。</p>	<p>—</p>